

障害者支援施設 日の出太陽の家



～施設移転事業の進行状況をお知らせいたします～

(令和3年11月1日発行)

昨年5月にご案内した「日の出太陽の家」の移転改築事業について、各種行政手続が進んで今年度中に着工できることになりましたので、これまでにいただいたご意見やご心配に対する対策などとともに、概要をお知らせいたします。本来ならば新施設の周辺にお住いの皆様方には説明会等でご説明すべきところですが、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大に注意すべき時期にあることから、自治会役員の皆様とも相談の上、感染予防を第一に考えて紙面にてお伝えさせていただきます。



新しい「日の出太陽の家」のイメージ図

令和4年1月に着工の見込み

東京都知事の農地転用と開発行為の許可を受けることができたので、建築確認申請手続を行った上で、競争入札による工事の発注手続を進めます。令和4年1月中の着工と4年11月下旬ごろの完成をめざしています。

工事期間中の交通安全対策



工事期間中は、工事車両の通行や作業が地域の皆様のご迷惑にならないよう、誘導員を配置するとともに、工事関係車両が路上待機などで周辺の交通の妨げにならないように、受注業者への指導を徹底いたします。



る駐車場を利用する車両は、施設から北方向への通行を避けて、南側を走る町道補助道第3号線から拡幅後の町道を使って出入りし、車両の往来が近隣にお住いの皆様のご迷惑にならないように配慮いたします。

施設の安全対策

施設ご利用者の敷地外への単独外出防止や施設の防犯対策のために、敷地の外周とは別に、敷地内の建物の周囲に高さ約1.5メートルのフェンスを設置して安全確保に配慮しています。

施設運用開始後の安全対策

施設の西側に沿って南北に走る町道三吉野清坊1号線は、現在、幅員が3メートル未満ですが、セットバックと敷地内にある公衆用道路敷地の付け替えを行い、約1.5



施設西側町道の拡幅対象部分

メートル拡幅します。これによりこの部分の幅員は約4.5メートルとなり、車両のすれ違いが可能になります。また、施設の北側に配置す



施設北側駐車場出入口付近のイメージ図

新しい「日の出太陽の家」の概要をご紹介します

施設の概要

敷地面積…4041.26㎡、建築面積…1763.69㎡

延床面積…2231.57㎡、構造…木造2階建て

入所定員…30人、短期入所定員…7人

生活介護に必要な設備など…入所施設として、

ご利用者の居室、食堂、浴室、共同トイレのほか、談話スペース、日中の生活介護活動に利用する訓練・作業室などを備えます。また



日中活動では、施設の送迎用車両を使って平井農園や平井工房、日の出陶房などに向いて、農作業や陶芸をはじめとする様々な創作活動にも取り組みます。

また、現在は日の出町役場の南隣りにある福祉作業所「平井工房」内に設置している「太陽の家相談支援センター」も、新施設の中に移転します。

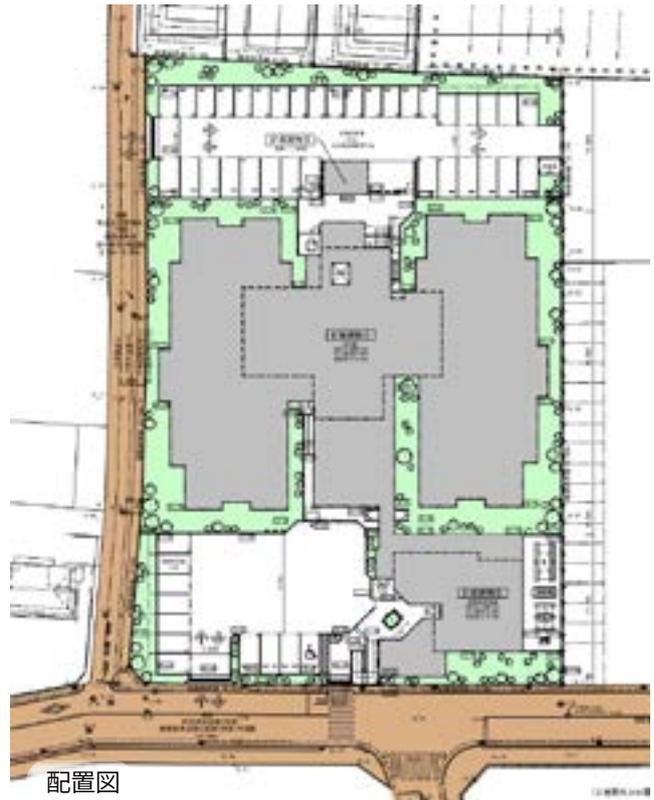
地域交流のための設備…近隣にお住いの皆様にもご利用いただきながら交流の機会を持ちたいとの思いから、南側道路沿いの建物1階に、小規模ですがカフェと展示・即売所を設けます。この展示・即売所では、日頃、ご利用者が農園で栽培した新鮮な無農薬野菜や個性豊かな陶芸作品などを展示・販売します。



防災対策のための設備…南側道路沿いの建物2階部分に設ける多目的室は、地域にお住いの在宅障害者とそのご家族が台風・豪雨・地震などで避難を必要とする際の避難スペースとして活用していただけるようにします。具体的



な運用方法などについては、今後、日の出町や地元自治会などとも協議をさせていただき、いざというときに有効に機能するように調整する計画です。



配置図



施設南側からの鳥瞰イメージ図

移転後の既存施設の再利用計画

現在の日の出太陽の家は、建物の償却期間を残しているため、施設移転した後は日中の通所作業所として再利用し、隣接する武家屋敷や日の出陶房などと一体的に、福祉ボランティアや障害者理解の促進のための新たな活動拠点とする計画です。長引くコロナ禍の影響で中止している花咲きまつりの再開プランなども検討していきます。

社会福祉法人 太陽福祉協会



日の出町大久野5107

☎042-597-2811

<https://www.taiyonoie.org>